



朝晩が肌寒い日も出てきて、すっかりと秋めいてきましたね。

厳しい残暑もようやく終わりのようで、読書やスポーツに最適な季節となりました。 文：小川 康成
私自身オートバイに乗っているので、行動の規制がない今年は既にツーリングのお誘いで予定が目白押しとなっており、久しぶりに充実した秋のバイクライフとなりそうです。

さて、保険業界ではビッグモーター社の不正請求問題と保険会社大手 4 社による企業向け大型契約の談合の問題が注目されており穏やかではない秋になりそうです。

～ 売上偏重主義が招いたお客様軽視の姿勢～



ビッグモーター社の保険金不正請求は、金融庁が主要取引先であった損保ジャパン社に立ち入り検査に入ったことにより、損害保険業界の経営体質の問題にまで発展しております。既に損保ジャパン社は社長が辞任を表明していますが、世評はもちろん行政もそれだけで良しとはせずに不祥事が起きた原因を徹底的に追及する構えです。

保険会社にとってお客様はもちろご契約を頂く皆様ですが、しかし一部を除いて国内における自動車保険の販売は、約 90%が販売店である代理店を通じてお客様に提供されます。

しばしばお客様にも驚かれるのですが、毎日様々なメディアで接している自動車保険の通信販売は、実際には国内の自動車保険においてシェア 10%程度と言われております。



お客さまへの保険の販売は代理店を通じて行われるため、ビッグモーターのように全国に店舗を展開して保険を販売する大型の保険代理店は、保険会社にとって気を遣う存在であったのは明白です。その事が保険の不正請求や水増し請求があった事を知りながら、ズルズルとビッグモーター社と取引を続けてしまった要因です。どの業界でもある事でしょうが、他社に対して売り上げやマーケットシェアを少しでも伸ばすことは企業として当然の努力ですが、肝心要のお客様のご契約をしっかりお預かりし、適切な運用がされるように管理する大切な基本姿勢が、損保ジャパン社の売り上げ至上主義の中で置き去りにされた形となっています。

～ 今回の不正のお客様への影響は??～

自動車保険の保険料は事故で支払いが増えれば、その分翌年以降の料金に反映されます。従って、ビッグモーター社が不正に請求して支払いが増えれば当然ですが、お客様が支払う保険料（掛け金）に影響が出る理屈です。しかし、いかにビッグモーター社が大型代理店と言っても市場規模 9 兆円の損害保険業界から見ればやはり小さく影響は限定的です。

また 2024 年 1 月に大手各社は保険料の改定を準備しておりますが、そこにはビッグモーター社の不正請求がなかったものと最大限の考慮をしたうえでの料金変更となる事が決定しています。今回の改定では、各社数%の値上げとなる模様ですが、原因はインフレによる修理費の高騰+コロナが明け行動規制が無くなったことでの事故件数の増加です。

なお、コロナの時は逆に行動自粛で、事故件数が減少して保険料が下がっていました。



ヨーロッパなど海外では自動車販売・修理関係者に自動車保険を販売させない国も多く学者や評論家の中には「本来そうあるべき」という意見もあります。理由は、修理すれば儲かる立場の者が正しい事故の請求をする事は「利益相反関係」で難しいからです。ビッグモーターの件は正にその通りの事件で業界のモラルが問われます。

メンバー 近況報告

感動！！

西井 紗輝子



3連休初日は息子の保育園の運動会でした。長い間コロナ過で運動会や遠足など、中止や縮小での開催でしたが、今回はちゃんとしたプログラムでの開催ができました。息子は年中で、かけっこや遊戯「NHKのツバメダンス」を1カ月前から頑張ってお練習していたので本番当日は私のほうがドキドキ！！息子も沢山練習した成果をしっかりと出して、遊戯を見たときはウルっときてしまいました。

息子の保育園は、コロナが始まったのと同時期に新設された保育園ということで、理事長や他の先生方も初めての運動会！毎日遅くまで園児たちにダンスを教えるため、動画を観ながら練習されていたり、衣装を作成されていたりする姿を見ていたので、とても感謝でしたし、年長さんの選手宣誓や、終わりの言葉、理事長の挨拶は思わず涙が出てしまいました。



親子競技もあり、沢山の親と一緒に抱っこしたりおんぶしたりと笑いの耐えない一日となりました。運動会がこんなにも感動するものだとは思ってもいなかったのも、来年は年長さんということもあり、息子の晴れ姿がみられるので今から楽しみです。

せともの祭に参加

岩瀬 英之

今年も商工会議所青年部のメンバーとして参加しました。例年、天気恵まれないせともの祭ですが、今年は珍しく晴れ予報になっており、たくさんのお客さんに来てもらえるように張り切って、準備をしました。事前に行われる清掃活動でも、暑い中宮前公園内のゴミ拾いや草刈りをし、ステージの準備などを手伝いました。当日、1日目の土曜日のみ参加でしたが、朝から晴れてかなり暑かったので熱中症対策などに気遣いながらの運営になりましたが、昨年に引き続き、オカリナの絵付け体験のブースを担当したので、たくさんの方と交流することができ楽しかったです。3年ぶりに開催させた前回は分からないことなども多かったです。その反省を活かし開催中に大きなトラブルもなく無事に終わることができました。オカリナ以外の青年部の主催ブースにも、たくさんの方に来ていただき盛り上がりよかったです。

2日目は夕方から少し参加して片付けまでを行うつもりだったのですが、さすがせともの祭という感じの雨になってしまい、着いた時には片付けが終わっていました。それでも2日間かなり多くの方に楽しんでもらえ、来年もぜひ参加したいと思いました。ただ、夜の打上げで大いに盛り上がり飲みすぎたので、来年は気を付けようと思います。



子供のスマホ問題

小川 真紀



小学6年生の娘ですが、夏休み明けに周りのお友達も自分用のスマホを持つようになりました。先月の「せともの祭」に子供同士で行きましたが、やはりその中でスマホを持っていると待合せやグループLINEで他の子との合流など、とても役に立ったそうです。そこで当然、未所持の我が家では子供のスマホ問題が始まり、検討していますが、親としてはなるべく遅く持たせたいと思っています。

ある研究結果によると、インターネット使用と脳の発達には、とても関係があるようで、インターネットをたくさん使っていた子どもほど、言語能力の発達が小さく、幅広い範囲における脳の発達にも悪影響が見られたそうです。私達も以前は紙にペンで文字を書いていたのですが、スマホやパソコンで文字を打つようになり、漢字が直ぐに出て来ないことや書けなくなった事、車の運転でナビに目的地をセットして地図が導くままに運転をしていると、道を覚えなくなっていますよね。皆さんも経験ありませんか？スマホの利用だけでは無いと思いますが、脳の発達が止まっていたら恐ろしいことだと思います。ただ、現代社会では必要なアイテムになっているので悩ましいです。